

施策番号	1222		
施策名	安心して子育てができる保育サービス等の提供		
概要	様々な保育ニーズに対応した多様なサービスを提供し、安心して子育てのできる環境を構築する。		
担当局	保健福祉局	共管局	教育委員会
上位政策	122 子どもを安心して産み育てる		

施策の評価

1 客観指標評価

	18年度	19年度	20年度評価				
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1 保育所の待機児童数（人）	d	b	116	89	0	-	b
2 延長保育実施箇所数（箇所）	c	c	150	164	190	86.3%	b
3 一時保育実施箇所数（箇所）	c	c	29	33	42	78.6%	c
4 休日保育実施箇所数（就学前児童10万人当たりの箇所）	b	c	4.2	4.4	13.7	30.7%	d
5 ファミリーサポートの登録者数（人）	a	a	2975	3577	2975	120.2%	a
6 -	-	-	-	-	-	-	-
7 -	-	-	-	-	-	-	-
8 -	-	-	-	-	-	-	-
9 -	-	-	-	-	-	-	-
10 -	-	-	-	-	-	-	-
			客観指標総合評価				b

2 市民生活実感評価

設問	子育て家庭のニーズに応じた保育サービスが充実している。					
回答	18		19		20	
	回答者数	回答率	回答者数	回答率	回答者数	回答率
a: そう思う	11	2.3%	10	2.3%	25	3.6%
b: どちらかというと思う	74	15.4%	76	17.4%	122	17.7%
c: どちらとも言えない	185	38.6%	153	34.9%	237	34.4%
d: どちらかというと思わない	125	26.1%	104	23.7%	181	26.3%
e: そう思わない	84	17.5%	95	21.7%	123	17.9%
有効回答数	479		438		688	
市民生活実感評価	d		d		d	

20回答率

■ a: そう思う
■ b: どちらかというと思う
■ c: どちらとも言えない
■ d: どちらかというと思わない
■ e: そう思わない

* この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

3 総合評価（客観指標総合評価＋市民生活実感評価）

	18	19	20
客観指標総合評価	c	b	b
市民生活実感評価	d	d	d
総合評価	C	C	C
重み付け	(理由)		
<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標 <input type="checkbox"/> 市民の実感	対象者が限られた施策であり、市民の生活実感に施策の効果が反映されにくいと考えられるため、客観指標総合評価を重視する。		

4 原因分析・今後の方向性

待機児童数は減少しており、一時保育実施箇所数及び延長保育実施箇所数が増加する等、施策の推進には努めているが、客観指標総合評価及び市民生活実感評価がともに昨年度と同様となっている。結果として総合評価についても影響が及ばず、昨年度と同評価となっている。

本市においては、子育て支援の総合的な計画として、新「京（みやこ）・子どもいきいきプラン」（以下「新プラン」という）を策定し「子育て支援都市・京都」の実現を目指しているが、今後とも、新プランに掲げた目標の達成とともに、市民・地域ぐるみで子育てを支え合う風土づくりを進め、将来の担い手である子どもたちが健やかに成長できるよう施策の展開を図っていきたい。

（参考）この施策実現のための主な事務事業

	事業名	19年度予算 (千円)*	20年度予算 (千円)*	19年度事務事業評価に おける今後の方向性	担当部・課
1	京都社会福祉協会助成	15,989	10,562	縮小等による見直し	保健福祉局子育て支援部保育課
2	民間社会福祉施設単費援護	5,200,648	5,224,253	現状のまま継続	保健福祉局子育て支援部保育課
3	保育料徴収対策	91,126	101,062	現状のまま継続	保健福祉局子育て支援部保育課
4	民間保育所運営費支弁事業（市単費分）	2,450,481	2,465,285	充実	保健福祉局子育て支援部保育課
5	民営保育所延長保育事業	460,625	471,391	充実	保健福祉局子育て支援部保育課
6	民営保育所一時保育事業	82,105	81,225	充実	保健福祉局子育て支援部保育課
7	民営保育所休日保育事業	6,325	5,746	充実	保健福祉局子育て支援部保育課
8	民営保育所地域活動事業	27,623	27,263	現状のまま継続	保健福祉局子育て支援部保育課
9	昼間里親運営委託	372,742	381,210	現状のまま継続	保健福祉局子育て支援部保育課
10	保育所産休等代替職員費補助	97,925	97,617	現状のまま継続	保健福祉局子育て支援部保育課
11	保育士養成所	13,508	10,469	縮小等による見直し	保健福祉局子育て支援部保育課
12	保育園連盟事業助成	4,475	4,475	現状のまま継続	保健福祉局子育て支援部保育課

13	公営保育所運営	5,573,598	5,553,951	現状のまま継続	保健福祉局子育て支援部保育課
14	公営保育所延長保育事業	70,448	70,448	現状のまま継続	保健福祉局子育て支援部保育課
15	公営保育所一時保育事業	86,909	86,909	現状のまま継続	保健福祉局子育て支援部保育課
16	公営保育所休日保育事業	10,520	10,520	現状のまま継続	保健福祉局子育て支援部保育課
17	食育の推進を図るための保育所給食業務相談等事業	5,722	5,734	現状のまま継続	保健福祉局子育て支援部保育課
18	保育所職員の資質向上のための研修プログラム	1,169	1,165	現状のまま継続	保健福祉局子育て支援部保育課
19	京（みやこ）・いきいき子育てサポート事業	31,146	29,730	現状のまま継続	保健福祉局子育て支援部児童家庭課
20	乳幼児健康支援デイサービス事業	26,836	25,179	現状のまま継続	保健福祉局保健衛生推進室保健医療課
21	私立幼稚園保護者助成	1,261,353	1,152,553	充実	教育委員会総務部調査課
合計		15,891,276	15,816,750		
うち、主たる事業の合計 (従たる事業の合計)		15,891,276 (0)	15,816,750 (0)		

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含む

施策名	1222	安心して子育てができる保育サービス等の提供				
指標名	保育所の待機児童数（人）					
担当課	保育課	連絡先	251-2390			
1 指標の説明						
保育所への入所申込みを行ったにもかかわらず入所できなかった児童で、入所要件があり、かつ引き続き保育所への入所を希望している児童の中から、特定園を希望している児童と昼間里親に入室した児童を除いた数値						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
待機児童を解消するためにどれくらいの受入を確保する必要があるかを示す指標			各区の待機児童数の総合計 出典：事業担当課調査			
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	18年度	19年度		数値	根拠	達成度
数値	116	89	27人減	-	-	-
	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		根拠
数値	政令指定都市で5番目に少ない	0	17年度	-		「京都市基本計画第2次推進プラン」に掲示
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果		
待機児童数が a：0 前年度と比較して b：減少 c：同水準 d：上昇 e：過去最大の上昇		待機児童の解消を最高の目標とし、aとする。待機児童減少数を経年的に比較するため、前年度と比較して、減少をb、同水準をc、上昇をd、過去最大の上昇をeとした。平成14年度から待機児童の新定義が定められたことから、前年度と比較して増加、減少したことにより評価する。		18	19	20
				d	b	b

指標名	延長保育実施箇所数（箇所）					
担当課	保育課	連絡先	251-2390			
1 指標の説明						
延長保育を実施している保育所の数						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
多様な保育サービスの提供を通じた児童のいる家庭への支援状況を示す指標			出典：事業担当課調査			
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	18年度	19年度		数値	根拠	達成度
数値	150	164	14箇所増	-	-	-
	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		根拠
数値	政令指定都市3位	190	21年度	86.3%		新「京（みやこ）・子どもいきいきプラン」に掲示
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果		
中長期目標に対する達成度 a：100%以上 b：80%以上100%未満 c：60%以上80%未満 d：40%以上60%未満 e：40%未満		目標達成には相当の努力を要するものの、目標を上回ることも不可能ではないため、100%以上の達成をaと設定する。 平成17年1月に新「京（みやこ）・子どもいきいきプラン」として、新たな目標数値を設定したため、平成17年度分から、新プランの数値で目標達成を判定している。		18	19	20
				c	c	b

施策名	1222	安心して子育てができる保育サービス等の提供
-----	------	-----------------------

指標名	一時保育実施箇所数（箇所）
-----	---------------

担当課	保育課	連絡先	251-2390
-----	-----	-----	----------

1 指標の説明
一時保育を実施している保育所の数

2 指標の意味
一時的な保育需要が生じた家庭への支援状況を示す指標

3 算出方法・出典等
出典：事業担当課調査

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	18年度	19年度		数値	根拠	達成度
数値	29	33	4箇所増	-		-

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	政令指定都市12位	42	21年度	78.6%	新「京（みやこ）・子どもいきいきプラン」に掲示	-

5 評価基準
中長期目標に対する達成度
a：100%以上
b：80%以上100%未満
c：60%以上80%未満
d：40%以上60%未満
e：40%未満

6 基準説明
目標達成には相当の努力を要するものの、目標を上回ることも不可能ではないため、100%以上の達成をaと設定する。
平成17年1月に新「京（みやこ）・子どもいきいきプラン」として、新たな目標数値を設定したため、平成17年度分から、新プランの数値で目標達成を判定している。

7 評価結果

18	19	20
C	C	C

指標名	休日保育実施箇所数（就学前児童10万人当たりの箇所）
-----	----------------------------

担当課	保育課	連絡先	251-2390
-----	-----	-----	----------

1 指標の説明
休日保育を実施している保育所の数

2 指標の意味
休日保育が必要な家庭への支援状況を示す指標

3 算出方法・出典等
休日保育実施箇所数／就学前児童数×100,000
出典：事業担当課調査

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	18年度	19年度		数値	根拠	達成度
数値	4.2	4.4	0.2箇所増	13.7	政令指定都市第1位の数値	30.7%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	政令指定都市11位	5	21年度	88.0%	新「京（みやこ）・子どもいきいきプラン」に掲示	-

5 評価基準
政令指定都市順位が
a：1位～3位
b：4位～6位
c：7位～9位
d：10位～12位
e：13位～

6 基準説明
大都市間の受入水準の比較で評価することとし、政令指定都市順位の1位から最下位を5段階に区分することで基準を設定した。

7 評価結果

18	19	20
b	c	d

施策名	1222	安心して子育てができる保育サービス等の提供
-----	------	-----------------------

指標名	ファミリーサポートの登録者数（人）
-----	-------------------

担当課	児童家庭課	連絡先	251-2380
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明

京都市ファミリーサポートセンターの会員として登録している人の人数

2 指標の意味

地域で安心して子育てをするためのサービス提供体制の充実度を示す指標

3 算出方法・出典等

会員数の総合計
(出典：事業実績報告書)

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	18年度	19年度		数値	根拠	達成度
数値	2975	3577	602人増	2975	過去3年間の最高値	120.2%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値	-	-	-	-	-

備考	-
----	---

5 評価基準

最新の数値が
a：過去3年間の最高値以上
b：過去3年間の最高値と上中間（最高値と平均値の間）の間
c：過去3年間の上中間と平均値の間
d：過去3年間の平均値と下中間（平均値と最低値の間）の間
e：過去3年間の下中間以下

6 基準説明

会員数は上昇傾向にあることが好ましい指標であるため、過去3年間の数値を基に、最高値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。なお、平成14年度事業開始のため今年度は過去4年とする。
最高値：2,975（平成18年度）
平均値：2,197
最低値：1,381（平成15年度）

7 評価結果

18	19	20
a	a	a